

かすかに残る史跡を訪ねて

10kmコース

廃線コース

コンセプトポイント



1 尾上駅跡

加古川駅から高砂市の高砂駅までを結んでいた、日本国有鉄道高砂線の駅跡。尾上駅は大正2年に播州鉄道の尾上駅として開業。1943年に国鉄高砂線の駅となるが、時代の流れにより1984年に廃止となった。ホーム跡は廃線後に撤去されてしまったが、駅跡を示す動輪と、尾上駅の歴史を語る石碑が設置されている。

チェックポイント 駅の跡には動輪が残されており、当時の様子をうかがい知ることができる。



2 野口駅跡

1913年、播州鉄道の北在家駅として開業し、翌年の1914年に野口駅と改称した。その後、別府鉄道野口線が開業し、野口駅は播州鉄道と別府鉄道の接続駅となった。1945年、時代の流れにより一時休止を余儀なくされた。その後営業を再開したが、運行本数が少ないことや国鉄山陽線などができたことにより、惜しまれつつも廃線となった。

チェックポイント 駅の跡には、線路や車輪、駅名標が残されており、当時の様子をうかがい知ることができる。



3 松風こみち

別府鉄道のレール跡地に作られた道で、全長は約3km。市の木である黒松と、市の花であるつつじで彩られた歩行者・自転車の専用道で、加古川市の官庁街から住宅街を経て臨海部へ続いている。途中休憩所や公園があり、ゆったりと歩くことができる。100m毎に距離標があり、歩きやすい道となっている。

チェックポイント ところどころ地面に当時のレールが残っている。



4 円長寺駅跡

別府鉄道の駅跡。1931年、三岐鉄道の「キハ5」として日本車輛で製造された気動車が残っている。車両は、1964年に別府鉄道が三岐鉄道から譲り受けた後、主に野口線で使用された。車両としての役目を終えた現在は公園内で静かに佇んでいる。

チェックポイント 当時の運行表もそのまま残されており、当時の列車の運行状況を知ることができる。



よりみちポイント

- A スタート・ゴール地点 別府公民館
- B 浜の宮公園
- C 浜宮天神社
- D 法音寺
- E 鶴林寺
- F 松風ギャラリー

【凡例】

- モデルコース
- 1～4 コンセプトポイント
- A～F よりみちポイント

©That's & Trial 2010